



編集・発行／日本共産党伊勢崎市議団 〒372-0032 伊勢崎市北千木町 2087 TEL25-4854/fax24-8204
ホームページ www.jcp-isesaki.net/ メールアドレス sigidan@jcp-isesaki.net

合併 15 年バラ色からイバラの道へ



商工団体の総会に来賓として出席「中小業者の営業とくらしを守ろう」と連帯のあいさつ

定例会が8月30日から9月27日まで開かれ、北島元雄市議が一般会計決算の質疑、長谷田公子市議が幼保無料化など一般質問を行いました。

景気は好循環なのに財政が大変

儲かっているのは内部留保を増やしている大企業と、富裕層だけなのに、監査委審査意見書では「給料が上がリ、家計消費が増え景気は好循環、市税収も増えている」とのべています。実質賃金はマイナス、家計消費も下回ったままで、増えたのは税金と保険料(税)の支払だけです。

税収が増えているのに「財政が大変」とは、どうなっているのでしょうか。

国の交付税が削減

「合併しなければやっていけない」「合併すれば国の優遇措置が受けられ将来はバラ色」とあおって合併を強行しました。

15年すぎ合併で効率が悪くなつたのだからと、国からの合併特例の交付税増額は、今年度で終わりに。その結果、市の貯金が減り続け、市長は市財政が大変と事務事業の抜本見直しを宣言しています。

そもそも国の合併推進の目的が、市町村に回すお金を減らすのが狙いですから、「合併すればバラ色」とはなりません。

同様の施設を2つはいらない、利用者が少ないと周辺の施設を閉鎖し、市独自の福祉施策を取りやめ、水道や下水道料金値上げなど、これから大きなしわ寄せが市民生活にのしかかってくる。合併すればバラ色のはずが、国から来る交付金を減らされイバラの道が待っているのです。

補助なしで38億の事業

新学校給食調理場が稼働しました。38億円の総事業費は国の補助金を受けていません。市民に必要な仕事は補助金が出なくて

国からの交付税に合わせ財政調整基金(市の貯金)も増減(億円)



もやるといふ姿勢は必要ですが、当然補助金が出る学校給食調理場を、国の補助金を受けずに建設する自治体を立派と言えらるでしょうか。しっかり準備をして補助金を受けられる段取りをつけることが、行政マンの基本ではないでしょうか。

そんな基本を怠って「財政が大変だ、事業を抜本的に見直す」と暮らしや福祉の施策を削るなど、市民の理解を得られないものではありません。